国語で行える工夫例

○「話すこと・聞くこと」の学習については、教科書に掲載されている教材を基本とした上で、例えば、スピーチやプレゼンテーション、インタビュー、話合いなどの内容や構成、表現の仕方などについて考え、自分が話したり聞いたりするために大切なことをノートにまとめたり、知りたいことや関心のある話題についてインタビューメモやスピーチメモを作成したりする。その際、テレビやラジオ、インターネットなどの音声や動画を視聴して、実際に練習してみることも考えられる。

○「書くこと」の学習については、教科書に掲載されている教材を基本とした上で、例えば、日々の出来事などを書いたり、詩や物語をつくったりする。また、関心のある事柄について、新聞、雑誌、テレビやラジオ、インターネットなどを通して様々な情報を収集し、事実と感想、意見を区別して書いたり自分の考えをまとめたりする。その際、教科書や本などの文章や作品の優れた表現を参考にすることも考えられる。

○「読むこと」の学習については、教科書に掲載されている教材を基本とした上で、例えば、教科書にある文章や作品などを読んで、感じたり考えたりしたことを文章にまとめたり、教科書の文章や作品に付属して掲載されている課題について自分の考えをノートに書いたりする。また、読むために必要な語句の意味や漢字、言葉のきまりなどについて、辞書などの補助教材やインターネットにおけるデジタル教材などを活用することも考えられる。

○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の学習については、以下の学習が考えられる。

・教科書の古文や漢文を音読する。
・教科書や本、新聞、雑誌などにある、自分が知らない語句の意味を調べたり、漢字をノート等に練習したりする。　など

○このほか、例えば本や新聞、雑誌、各自治体が作成している教材や問題集、各学校で採用している補助教材、教育に供するために公開されている様々なコンテンツを活用することも考えられる。